



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社ミダック 上場取引所 名  
 コード番号 6564 URL <http://www.midac.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢板橋 一志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-471-9283  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,259	-	385	-	391	-	197	-
30年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 197百万円 (-%) 30年3月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	59.50	59.47
30年3月期第1四半期	-	-

(注) 1. 平成30年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成30年3月期第1四半期の数値および平成31年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
31年3月期第1四半期	7,896		2,328		29.5
30年3月期	8,075		2,170		26.9

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 2,328百万円 30年3月期 2,170百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	0.00	-	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,316	18.3	541	52.4	537	59.0	282	54.1	84.96
通期	4,427	4.3	976	10.5	945	12.6	475	△3.4	143.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	3,322,300株	30年3月期	3,322,300株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	-株	30年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	3,322,300株	30年3月期1Q	-株

（注）当社は、平成29年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や設備投資の持ち直しなどにより、緩やかな景気回復が続きましたが、米中の貿易摩擦懸念などにより、世界経済の不透明感が増すなど、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況におきまして、当社グループは、引き続き収集運搬から中間処理、最終処分までを手掛ける一貫処理体制を推進するべく、営業部門と事業部門とが連携し、受託量の拡大及び収益性の向上を目指してまいりました。営業部門におきましては、関東方面での需要増加に伴い、営業員の増員を行うなど、積極的な営業展開を図りました。事業部門におきましては、廃棄物処理費の削減に向けた取り組みを継続的に実施しました。

また、当社の連結子会社で最終処分場を有する株式会社ミダックはまなにおきましては、建物の解体工事に伴う廃棄物の受託量が好調に推移し、当第1四半期連結累計期間の経営成績に大きく寄与しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,259百万円、営業利益は385万円、経常利益は391百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は197百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 廃棄物処分事業

連結子会社である株式会社ミダックはまなの受託量が好調に推移しました。これは、前連結会計年度より続く大口のスポット案件について平成30年6月まで搬入が続いた影響によるものであります。また、同業他社から排出される中間処理後の廃棄物の受注も好調に推移しました。当社におきましては、焼却処理及び水処理が好調に推移しました。以上の結果、売上高は1,047百万円となり、セグメント利益は472百万円となりました。

## ② 収集運搬事業

廃液の受託量が好調であったこと及び入札案件を落札したことにより産業廃棄物の受託量は好調に推移しました。その他、一般廃棄物の受託量も安定的に推移しました。以上の結果、売上高は178百万円となり、セグメント利益は26百万円となりました。

## ③ 仲介管理事業

スポット案件の受注が低調に推移しました。以上の結果、売上高は33百万円となり、セグメント利益は12百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ122百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少額122百万円等によるものであります。また、固定資産は5,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少しました。これは主に、のれんの減少額62百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、7,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少額120百万円等によるものであります。

また、固定負債は3,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少額150百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、5,567百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,328百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益197百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額157百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年8月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表の通りであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,903,901	1,781,516
受取手形及び売掛金	532,924	576,508
たな卸資産	53,044	48,316
その他	288,113	249,238
貸倒引当金	△1,941	△1,856
流動資産合計	2,776,043	2,653,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	467,695	471,705
機械装置及び運搬具（純額）	436,098	449,404
最終処分場（純額）	733,498	728,543
土地	787,386	787,386
その他（純額）	265,388	261,964
有形固定資産合計	2,690,068	2,699,004
無形固定資産		
のれん	1,899,083	1,836,476
施設設置権	320,800	310,775
その他	71,998	65,228
無形固定資産合計	2,291,881	2,212,480
投資その他の資産		
その他	324,166	337,206
貸倒引当金	△6,257	△5,957
投資その他の資産合計	317,909	331,249
固定資産合計	5,299,859	5,242,734
資産合計	8,075,902	7,896,458

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,712	47,100
短期借入金	730,000	730,000
1年内償還予定の社債	75,000	75,000
1年内返済予定の長期借入金	680,432	653,531
未払法人税等	229,518	108,661
賞与引当金	52,614	26,449
その他	511,228	510,737
流動負債合計	2,337,505	2,151,480
固定負債		
社債	170,000	163,000
長期借入金	2,726,465	2,576,209
最終処分場維持管理引当金	493,282	505,612
資産除去債務	101,907	102,453
その他	75,865	69,015
固定負債合計	3,567,520	3,416,290
負債合計	5,905,025	5,567,770
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	417,296	417,296
資本剰余金	655,103	655,103
利益剰余金	1,098,476	1,256,286
株主資本合計	2,170,876	2,328,687
純資産合計	2,170,876	2,328,687
負債純資産合計	8,075,902	7,896,458

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,259,696
売上原価	508,996
売上総利益	750,700
販売費及び一般管理費	365,227
営業利益	385,473
営業外収益	
受取利息	108
固定資産売却益	15,437
その他	1,447
営業外収益合計	16,993
営業外費用	
支払利息	10,692
その他	602
営業外費用合計	11,294
経常利益	391,172
税金等調整前四半期純利益	391,172
法人税等	193,494
四半期純利益	197,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,677

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	197,677
四半期包括利益	197,677
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	197,677

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,047,684	178,942	33,070	1,259,696	—	1,259,696
セグメント間の内部売上 高又は振替高	42,715	36	44,995	87,747	△87,747	—
計	1,090,399	178,978	78,066	1,347,444	△87,747	1,259,696
セグメント利益	472,093	26,288	12,141	510,522	△125,049	385,473

(注) 1. セグメント利益の調整額△125,049千円は、セグメント間取引消去6,636千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△131,685千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。